

第二五三回松山市観光俳句ポスト

第二五三回開函

「泉」主宰 上原 白水 選

特選三句

竹の秋読めぬ字のある子規の句碑

石川県金沢市 五十嵐 一雄

春めくや諳んじながら句碑の道

愛媛県新居浜市 木村 ツヤ子

マドンナとよばれたことも若い頃

香川県坂出市 徳田 真由美

入選二十句

マドンナのどこかゐさうな春の宵

福岡県北九州市 東 泰

湯の町や下駄を鳴らして春時雨

群馬県伊勢崎市 天野 和幸

源は石鎚の山春の水

兵庫県神戸市 石破 ますみ

伊予カンの爪に香りを残す午後

東京都世田谷区 大越 強志

バス旅行ほつと息つく椿の湯

広島県広島市 小川 康彦

十五万石の城下見下ろし鳥帰る

島根県松江市 梶川 裕子

恋猫の転げ込みたる愚陀仏庵

東京都町田市 小瀬澤 正春

湯帰りのそぞろ歩きや朧月

兵庫県明石市 近藤 昌子

春暁や桶の音ひびく道後の湯

宮城県仙台市 寒河江 正

春寒しふたりで足湯ほつこりと

福岡県朝倉郡 高津 多実枝

吾輩も猫になりきる道後の湯

石川県金沢市 高村 武

梅見頃妻と手を取り四国旅

千葉県市原市 長澤 光信

春時雨そこここの句碑訪ねける

千葉県千葉市 野上 杰

花曇天守に響く陣太鼓

大阪府大阪市 堀田 甲子代

松山やさくらとお城にむかへられ

栃木県足利市 松本 とよ子

(市内)

大草鞋掛け替へ石手初大師

愛媛県松山市 片岡 綏典

春風を腹一杯に瀬戸の海

愛媛県松山市 小島 雅文

一遍の古刹の外は花曇

愛媛県松山市 西山 たかし

(十五歳以下)

松山じょうちようどいいなお花みに

愛媛県松山市 石佐喜 菜々

しきさんのはいくでどうちやく

松山じょう

愛媛県松山市 高田 乃愛

投句総数 一八六四

市外 一四〇四

市内 四六〇

投句者総数 一〇〇四

市外 八〇三

市内 二〇一

開函日 平成二十四年三月三十一日